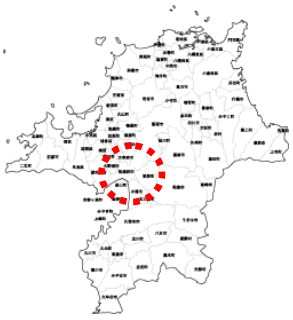
平成２１年度　「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	市民参加の古代官道（西海道）調査・活用事業（西海道ルネッサンス）
対象地域	福岡県・福岡市・太宰府市・筑紫野市・春日市・大野城市他
対象地域の概要	 福岡県と該当地域 西海道の基点である大宰府を中心にした半径１０～１５キロの古代官道ルート上の地域。 大宰府から基山・筑後国府に向かう古代官道「城の山道」ルートの地区 肥前・筑後国境道跡 古代官道の重要ルートの今日の姿
提案内容の概要	古代官道は貴重な国民的歴史文化遺産にもかかわらず、一般国民にほとんど認識されてこなかった。行政や専門家との協働・協力のもと、地域の市民参加によって、その調査・活用を行い次世代への継承を行う。フィールドワークを中心にした事業が地域の新鮮なコミュニティ活動として価値があり、地域活性化につながる。
提案する活動の内容 （１）地域の課題	該当地域は大都市部、平野部、丘陵部からなっており ① 空疎になった大都市部のコミュニテイづくりには、大人から子供まで、関心の持てる新しい話題が必要である。 ② 平野部は隠れたる地域歴史遺産があるにも関わらず、平凡なベッドタウン化している。 ③ 丘陵部は人口減少地域で、さしたる話題もなかったが、実は古代官道の重要な「駅路」「駅家」があったところである。
（２）活動内容の案	活動①：市民参加の「古代官道」調査事業 １）「市民フォーラム」の開催。該当複数個所で、古代官道一般論ならびに地域遺跡について、専門家も交えての市民啓蒙セミナーを行なう。 ２）これを受けて該当ルート別に「フィールドワーク」を行う。専門家、郷土史研究家等による案内・解説を行なう。貴重な資料として記録に留める。行政・地域・他グループとの連携など「広がり」の工夫を行なう。 ３）最終段階で、「市民シンポジウム」を開催し、市民からの提案等の開示、事業成果の集大成について発表、今後の進め方等の討論を行なう。 活動②：市民参加の「古代官道」活用事業 １）幅広い市民からの「発見・提案・創作大募集」を行なう。 ２）「古代官道」ルートの標示・解説板や「ミニミュウジアム」提案、古代官道ボランティア再現などのアイディアの検討、まとめを行なう。 ３）一般市民に使い易いポータブル・マップをつくる。 ４）今後の活用や展開についての討議を行う。大都市部から過疎化部までの活性化策を意識する。小中学生とのコラボレーションについても検討する。

	活動③ ： 「成果報告書」の取りまとめ
	事業活動の成果全般を詳細な記録にとどめ、本プロジェクトの今後にはもとより、該当地域さらには広域な地域での同種活動や研究への一助とする。
応募団体名	特定非営利活動法人　鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会（代表団体） 特定非営利活動法人　太宰府ボランティアネットワーク
リンク	ｈｔｔｐ：//ｋｏｄａｉｋａｎｄｏ．ｙｏｋａ-ｙｏｋａ．ｊｐ
部局／担当者名	ＮＰＯ法人　鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会 事務局長　岡部　定一郎
連絡先	ＴＥＬ　０９２－７１６－８２３８ ＦＡＸ　０９２－７１６－８２５４
推薦市町村名	福岡県太宰府市・筑紫野市